

製品・サービス動向-国内

■緑通：中国と日本の間での国際ビデオ会議を安定化させる通信サービス「IX-NET for TV-Conference」の提供を開始

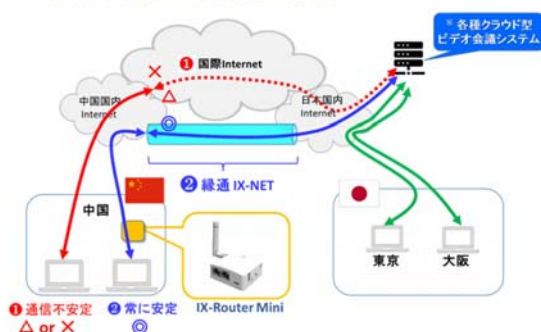
(2月19日)

株式会社緑通 (<https://entsu.com/>) (えんつう) (東京都中央区) は、中国と日本の間での国際ビデオ会議を安定化させる通信サービス「IX-NET for TV-Conference」の提供を開始した。

※IX-NET for TV-Conferenceの接続イメージ

BEFORE: 中国国内からWEB会議へ接続する場合、①の国際Internet経由での通信となり、通信が不安定な状況も多く、国際間での安定したWEB会議の開催は難しい

AFTER: 弊社サービスを利用頂くと、国際間をSLA付の安定した回線(②IX-NET)経由での通信となり、国際間で常に安定したWEB会議の開催が可能になる



接続イメージ (緑通)

中国国内と日本との間でビデオ会議を行おうとすると、一般インターネットの通信品質に大きく影響されて、映像の乱れや音声の遅延・途切れが頻発してしまい、まともにビデオ会議が開催できないという問題に直面している。

そこで緑通ではこのような問題を解消する「専用通信帯域によるSLA保証の国際商用インターネットサービス(緑通IX-NET)」を提供している。これまでも中国と日本の間でのビデオ会議のみならず、基幹系システムや各種クラウドサービスへの接続用として多くの日経企業に利用されているという。

今回の発表では、クラウド型ビデオ会議システムへ

の接続用途のみに特化した「IX-NET for TV-Conference」という新たなサービスを期間限定の特別価格にて提供することになった。クラウド型ビデオ会議システムは、Zoom、Teams、Webex、UCSなどあらゆるサービスのほか、ハードウェア型のテレビ会議システムにも対応しているという。

年間パッケージは、198,000円/年(税別)(海外1拠点につき)初期費用は5,000円(税別)。申込者には小型専用ルーターを送付。そのルーターにインターネット回線とビデオ会議端末を接続する。1週間のテスト期間ののち問題なければ正式利用開始となる。

■コミュニクラウドジャパン：企業のライブイベントをトータルに支援する「イベント配信サポート」サービスを強化

(2月26日)

コミュニクラウドジャパン株式会社 (<https://communicloud.co.jp/>) (神奈川県横浜市) は、コロナウイルス感染防止のため、集合型イベントを開催できない企業向けに、今回「会議室・貸しスタジオ配信パッケージ」を追加し、インターネットを使ったライブイベントの配信を支援する「イベント配信サポート」サービスを強化する。

イベント配信サポートサービスは、社内外イベントやセミナーをオンラインで配信したい企業・法人向けのプロフェッショナルサービス。

ライブイベントでは、企業の重要な社内外イベントを専門家のサポートのもと、講演者の映像や音声を、インターネットを使って配信する。参加者はインターネットを使ってパソコンやモバイル端末で視聴できるため、会場に集まる必要がなく、特別な機材を準備す

る必要もない。自宅やサテライトオフィスなどどこからでも参加できるといった特長がある。

コミュニ クラウド ジャパンでは、会場の下見、機器構成の検討、リモート参加者への教育やユーザーガイドの作成支援、配信システムの提供、カメラクルーや必要機材の手配、リハーサルや本番のオンサイト(現地) サポートなどが含まれ、「Microsoft Teams ライブイベント」や「Cisco Webex」「BlueJeans Events」などさまざまな企業向け配信システムを使ったライブイベントをサポートする。

またユーザがすでに利用している配信システムを使うことも可能で、配信システムを持っていない場合は、同社が提供することも可能だ。あるいは音声のみでの配信を希望の場合は「イベントコール用電話会議サービス」も用意されている。

なお、オンディマンドでの配信を希望の場合は専門家による撮影サービスの提供もある。

価格と購入方法については、1 イベントあたり約 50 万円(税別) から利用できる。配信方法や場所により費用が異なるため詳しくは同社へ問い合わせ要。配信システムを希望の場合は、「イベント単位ライセンス」「年間サブスクリプション」を選択可能となっている。

■ベルフェイス：営業に特化した Web 会議システム「bellFace」が外部サービス(「クラウドサイン」)、「Slack」連携を同時リリース、営業活動の効率化を実現

(2月25日)

ベルフェイス株式会社 (<https://corp.bell-face.com/>) は、弁護士ドットコム株式会社が提供する電子契約システム「クラウドサイン」、ならびに Slack Japan 株式会社が提供するビジネス向けコラボレーションツール「Slack」との連携機能を2月26日より開始する。

クラウドサインは、法律事務所・金融機関・上場企業など導入社数5万社を突破した業界 No.1 のサービ

スと言われている。「紙と印鑑」を「クラウド」に置き換え、契約作業をパソコンだけで完結するため契約締結のスピード化を実現、郵送代・紙代・インク代・印紙代が不要なためコスト削減が可能となっている。加えて、契約書をクラウド上で一元管理することで、業務の透明性が向上し、抜け漏れを防ぎコンプライアンスの強化にもつながるとしている。今回の連携により、bellFace 上からスムーズに契約締結を行えることが可能になる。

Slack は、チームの生産性の最大化を支援し、組織をまたいだオープンでスピーディなコミュニケーションを可能にするビジネスコラボレーションハブを提供している。フォーチュン 100 企業からスタートアップまで世界中のさまざまな企業において、より優れた働き方を実現するために活用されている。サンフランシスコ本社と世界 16 都市のオフィスを拠点にサービスを展開している。今回の連携により、Slack チャネルへ自動的に商談履歴の通知を行うことができるようになる。

bellFace は企業のインサイドセールス(遠隔営業)を支援するソリューション。インサイドセールスに取り組む企業の多くは営業活動の効率化を進めている。今回の連携により、bellFace がもたらす商談の効率化だけでなく、商談後の契約締結や商談の社内共有などより広域で営業の効率化を実現できるようになるとい

■ブイキューブ：感染症懸念から開催・参加が危ぶまれる株主総会を支援する特別配信サービス「SCP」提供開始

(2月18日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、昨今感染の拡大が懸念される新型コロナウイルスの影響で開催・参加が危ぶまれる株主総会を支援することが急務であると考え、インターネットを活用したライブ中継実現する特別配信サービス「SCP (Shareholders meeting Contingency Plan)」を

提供開始する。

ブイキューブは、映像配信技術を活用したイベントやセミナー、研修、株主総会などを実現し、2019年には2,500回以上の顧客にライブ配信を成功させた実績がある。最近、パンデミック懸念により株主総会の開催が危ぶまれるほか、参加できる株主が激減してしまう可能性があるとのことでライブ中継を相談するユーザなどからの問い合わせがあるという。ブイキューブでも同様の議論があり、3月末に行われる同社の株主総会については、従前どおりオンラインセミナーでの株主の方々の参加をいただく形で問題なく開催が可能であると考えていることから、同様の解決策を提供開始することになった。

ライブ配信は、やり直しのきかないミッションクリティカルな性質があり、慣れない自社での運用は困難とされていることから、提供するサービスはライブ配信システムの提供だけでなく、配信スタッフの派遣から機材の手配、実際の配信サポートまで、安心して実施できる一気通貫のサービス。

ユーザの方も利用が簡単で、サイトやメールのURLをクリックするだけで自宅や職場から簡単にライブ配信に参加することができる。参加者を制限・特定することも可能となっているため、柔軟な株主総会運営が行える。

■ブイキューブ：感染症懸念から中止・延期となるイベントをオンラインで実施できるライブ配信サービスECPサービスとして強化

(2月19日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区)は、感染の拡大が懸念される新型コロナウイルスの影響で、中止や延期が発表されているさまざまなイベントに向けて、インターネットを活用したオンライン開催・完結が可能なライブ配信サービスを「ECP

(Event Contingency Plan)」サービスとして強化する。

ブイキューブは、映像配信技術を活用したイベントやセミナー、研修、株主総会などを実現し、2019年には2,500回以上の顧客にライブ配信を成功させた実績がある。



スタジオ オクト (東京)



スタジオ オクト西日本 (大阪)

提供サービスは、スタジオの提供(東京・大阪)、オンラインイベントのディレクション、配信機材・スタッフの手配・派遣、配信システムの提供、配信サポートの一気通貫のサービスで、東京と大阪にあるスタジオ(Stadio Octo)は、多様なイベントのWebセミナー配信や開催を提供しており、さまざまなイベント形式に対応している。イベント主催者のビジネスチャンスと参加者の情報獲得のチャンスが失われないよう、多くの配信実績があるスタッフのサポートによる安心、安全なライブ配信を支援するとしている。

また、ユーザの方も利用が簡単で、サイトやメールのURLをクリックするだけで自宅や職場から簡単にライブ配信に参加することができる。参加者を制限・特定することも可能となっている。

ビジネス動向-国内

■ベルフェイス：52億円の資金調達を実施、26億円を人材採用に投資

(PRTIMES：2月17日)

ベルフェイス株式会社 (<https://corp.bell-face.com/>) (東京都渋谷区) は、52億円の資金調達を実施したことを発表。同社は、企業のインサイドセールスを支援するソリューションである、営業特化型 Web 会議システム「bellFace」を提供している。

シニアフィアンが運営するグロース・キャピタル「THE FUND」を新規リード投資家として、インキュベイトファンド、SMBCベンチャーキャピタル、YJキャピタル、みずほキャピタル、グロービス・キャピタル・パートナーズ、キャナルベンチャーズである既存投資家を含む8社を引受先とした第三者割当増資と、みずほ銀行、りそな銀行、商工中金などからのデッドファイナンスを合わせ総額52億円の資金調達を実施した。

ベルフェイスは創業以来、日本では黎明期であった「インサイドセールス」普及に向けて、プロダクト開発とカスタマーサクセスに注力してきた。その中で、営業特化型 Web 会議システム bellFace は、2015年リリースから現在までに1,200社に導入され、業界No.1となっている。ミッションである「勘と根性の営業をテクノロジーで開放し、企業に新たなビジネス機会をもたらす」の実現にむけ、調達した資金は広告・開発投資に加え、来期に計画する300人の人材採用に投資すると説明する。

■シネックスジャパン：新型コロナウイルス感染症拡大に伴いテレワーク拡大を実施し、各企業のテレワーク導入支援を強化する

(2月21日)

シネックスジャパン株式会社 (<https://www.synnex.co.jp/>) (東京都江東区) は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴いテレワーク拡大を実施し、各企業のテレワーク導入支援を強化することを発表した。

テレワーク拡大は、事業継続とあわせ、当社従業員およびその家族、並びにステークホルダーの安全確保を目的としたもの。2月19日から3月31日(予定)まで以下の2点を実施する。

(1) 従来テレワーク勤務における週2日の上限日数の引き上げ(週4日まで)。(2) 電車のラッシュ時回避に向けた時差出勤導入(コアタイム10~15時の設置)。

期間中は、対面ではなく、オンラインでの打ち合わせを提案/推奨し、これまでと同様にサービスの提供に注力していく。また、外務省中国渡航中止勧告(感染症危険情報レベル3)が発せられた時点より、原則中国への渡航禁止としており、社外との打ち合わせや来訪は可能な限りビデオ会議などリモートによる実施を推奨している。なお、3月31日以降の対応は、後日速やかに決定し決定次第改めて発表するとしている。

シネックスジャパンではこれまでさまざまなテレワークソリューションを提供、かつ、テレワークによる業務を行える企業制度を備え、さまざまな場面、利用形態を想定したテレワークソリューション環境を整備しており、サステナブルで先進的な企業を目指して活動している。

今回の事態を受けて、テレワークへのシフトを希望する企業に対して、テレワーク導入支援をこれまで以上に強化していく。

PR

■ヤマハ株式会社



ユニファイド
コミュニケーション
スピーカーフォン YVC-200

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/index>

セミナー・展示会情報

<国内>

■MICROSOFT TEAMS を使って会議室でビデオ会議を！

日時： 3月4日(水) 14:00-16:00 (13:50 開場)

主催： 株式会社 ロジクール

会場: ロジクール セミナールーム

詳細・申込：<https://info.logitech.com/0304-2020-logicool-seminar-jp.html>

■ZOOM/GOOGLE を使って 会議室でビデオ会議を！

日時： 3月18日(水) 14:00-16:00 (13:50 開場)

主催： 株式会社 ロジクール

会場: ロジクール セミナールーム

詳細・申込：<https://info.logitech.com/0318-2020-logicool-seminar-jp.html>

■ブイキューブセミナー情報 (3月)

「いまさら聞けない Web 会議とテレビ会議の違い 選び方徹底解説セミナー」、「オフィスの「会議室足りない問題」に。スマートワークブース「テレキューブ」体験会」、「テレワーク環境をスムーズに整える秘訣とは?~安心してテレワークするための IT ツールガイド~」 など
会場：(東京・Web セミナー)

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

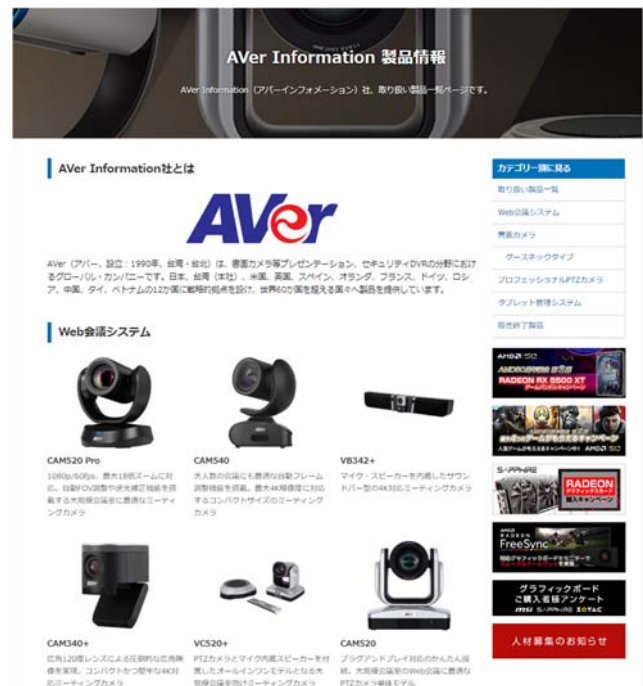
海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

検証レビュー執筆

■プレミアム Web カメラ検証レポート



この度、アバー・インフォメーション株式会社様が提供するプレミアム Web カメラの製品検証レポートを執筆させていただきました。レポートは、国内正規代理店である株式会社 ASK 様のウェブページでご紹介いただいております。各製品の「製品資料ダウンロード」からご覧いただけるようになっています。

⇒ <https://www.ask-corp.jp/products/avermedia-information/>

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2020年2月29日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp